週　報（降誕節第 10 主日）No.2616　　主の年 2025 年 3 月 2 日

2024 年度年間標語「キリストに結ばれて、共に歩むわたしたち」コロサイ 2:6-7

「教会と社会」

信徒部担当執事　古木徳子

信徒部は部会で教会員の方々の状況を覚えてお祈りしています。特に、礼拝出席が困難な方の状況に思いを寄せつつ、出張晩餐や訪問などをチームと連携して行っています。また、事情によって会堂に集うことができないことは誰にでもあります。そのような時、オンラインで礼拝を守れる恵みは本当にありがたく思います。オンライン配信チームのご奉仕に心から感謝いたします。

昨年 11 月の部会では次のような記事を読み、教会の状況と重ね合わせながら話し合いをしました。◆「一人暮らし高齢世帯　32 都道府県で 20%超　2050 年推計 1000 万人超」（2024.11.13　朝日新聞）・・・2050 年に神奈川県で 20.3%、東京で 18.7%に増加。少子化や未婚化の影響で子や配偶者などの家族コミュニティーが小さい高齢世帯が増えていく。意思決定の支援や貧困対策、防犯などの問題に地域での取り組みが必要に。◆「助けて」言えるまちづくり（2024.11.10　朝日新聞）・・・NPO 法人「抱樸」（理事長：奥田知志牧師）の活動紹介。今の社会は、医療や福祉の制度につなぐ気づきや見守りが失われている。「家族機能の社会化」を。

「教会は社会の縮図」と言われます。教会でもお一人暮らしの方やご高齢者のみの世帯の方が多くおられます。年を重ねても、お一人暮らしでも、どのような環境にあっても、誰もが安心して教会生活を続けられるような相互牧会のあり方が今後ますます大切になってくるでしょう。日頃からお互いを覚えて心を配り、見守り、時宜にかなったサポートをする。そして何よりも、いつでも「祈って」「助けて」と発信しあえる関係作り。神様の家族として、このようなつながりをより一層深めていければと思っています。

今月 30 日に「マナの祈り会」を開催します。地域ごとのグループでお互いのために祈り、つながりが深まる時となるよう計画しています。皆さま、ぜひご参加ください。

＊

神奈川県内の外国籍の方は約 26 万人（2024 年 1 月）。教会では日本語を母語としない方々と礼拝でご一緒する機会も増えています。やさしい日本語版週報などのサポートができると良いと思います。こうしたサポートや奉仕に興味・関心のある方はぜひお声かけください。

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前　９：００～１０：００（相模原礼拝） 午前１０：４０～１２：００（会堂礼拝）
教会学校	日曜日	午前　９：３０～１０：２０ （嬰児、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス）
祈り会	水曜日	午後　７：３０～９：００
金曜集会	金曜日	午前１０：３０～１２：００
家庭集会（相模原）	第二火曜日	午前１０：００～１２：００（竹村家）
（すずかけ台）	第三木曜日	午後　１：３０～３：００（長谷川家）

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間４－２４－６　TEL&FAX０４６（２７４）３７０８

牧師：吉田真司　音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子　協力牧師：斎藤剛毅

http://www.sccc.sakura.ne.jp